

田中 義人 議員 … 1 件の一般質問

官民連携による合理化と活性化は



町長：課題は多いが検討を進めていく

**田中** 財源やマンパワーが不十分で、本町は抜本的改革と民間との連携が欠かせないと考える。4点について、町長に見解を伺う。

①旭ヶ丘総合公園のさらなる利活用、活性化について。

②旧東陵中学校を一般開放するとの事。その際の運営方法は。

③新給食センター、統合保育所、完成後の運営方法は。

④マンパワー不足は、人手不足と能力不足の2つが上げられる。職員研修や人事交流、また来年度から始まる人事評価制度を絡めた施策は。

**町長** ①旭ヶ丘総合公園は平成23年に公園施設長寿命化計画を策定し遊具等の更新を進める。老朽化が進んでいるスポーツ施設やさらなる維持管理の充実が望まれている。民間活力の導入等による利活用や管理・運営、施設整備手法について、協議・検討を進める。

②旧東陵中学校の一般開放に係る運営方法は、現時点で直営を考えている。鍵の開け閉めに立ち合うなどの方法で対応したい。また、利用時間、利用料金などは、今後具体的に詰めていく必要があるが従前の児童生徒の部活動に関しては無料としたい。一般開放は、少なくとも実費は負担をいただきたいと考えている。今後の本格的な跡利用としての道筋が決まるまでの暫定的な開放となるが、他の町有施設の管理条例なども参考にしながら、利用時間、利用料金など施設の運営管理に当たっての要綱整備について、早急に検討を進めていきたい



旭ヶ丘総合公園

いと考えている。

③給食センター、統合保育所等に係る運営方法は給食部分については、公設民営と考えている。新学校給食センター稼働時の平成29年4月には、給食業務管理のノウハウがある民間企業への外部委託について、教育委員会内で現在検討・協議を図ることとしている。

ただし、給食献立の作成や食材の調達等は、地産地消、食育の観点からも引き続き栄養教諭を配置して町が行い、業者への委託は調理、洗浄を中心とした業務に限定するよう考えている。

統合保育所の運営は、基本的には現在の3保育所と同様に直営を考慮しており、保育所の給食については場所の提供をして外注することを検討している。

④職員研修に当たっては平成26年度は後志町村会や北海道市町村職員研修センター、市町村職員中央研修所などの主催する各研修に延べ82名を受講させている。

主査、係長、主幹職以上の管理職への昇格時には、北海道市町村職員研修センター主催の指導能力研修、管理能力研修に参加させ、スキルアップを図っている。

人事交流は、北海道と市町村等の職員交流要項に基づき、現在、1名相互に派遣交流を行っている。

地方公務員の一般職にも、人事評価制度の導入が義務づけられ、能力、業績に基づく人事管理の徹底、より高い能力を持つ職員を育成を図るとともに、十分に能力を出し切れていない職員の育成にも力を注いでいく。

結果として住民サービス向上の土台をつくることとが大きな狙い。今後、評価の結果は、昇給・手当及び人事異動などに活用していくことが求められており、導入に向けた制度構築、関係規定の整備に向け準備等に取り組んでいる。

**田中** 東陵中学校の今後の管理費用を抑えるために、鍵の開け閉めや使った後の掃除と

いうところだけで運営していくというのは、現実的ではないと考える。また、統合保育所の複合機能についての見解を伺う。

**町長** 旧東陵中学校は現時点では、管財係で管理をしているが、例として民間団体が窓口業務を行う代わりに使用料を免除する等、管理の仕方を工夫する。利用の状況によって運営の手法を十分検討したいと考える。

統合保育所は、子育て支援センターの持った複合施設機能というのは非常に有効であるし、望ましいと思っている。

**担当課** 9月に議員団と一緒に土別、奈

井江、恵庭等を視察して来た。特に恵庭市の黄金ふれあいセンターは参考になりそうだ。

複合施設という形で保育、子育て支援、地域交流センターという部分が出てくると思う。